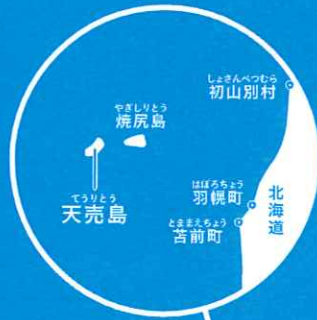
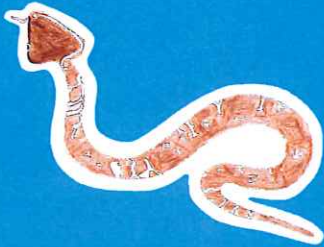




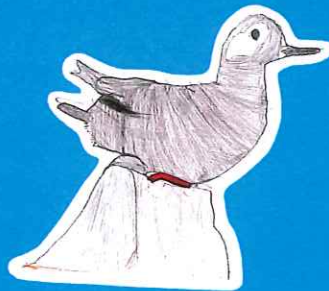
うみやまかわ新聞



天売島にいる危険な生き物



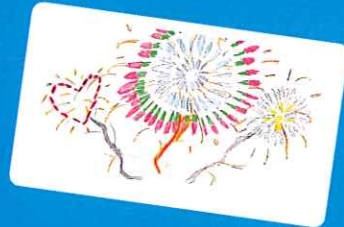
天売島の海鳥たち!!



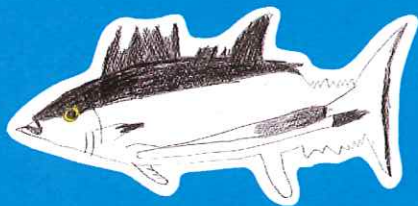
U M I
Y A M A
K A W A



神社のお祭り、郷土の祭典



北海道天売島版
てうりとう



みんなが楽しめるウニ祭り



『うみやまかわ新聞』は日本をつなぐ海・山・川をキーワードにした新聞です。天売島に暮らす子どもたちが「天売島に来てくれた人に伝えたいこと」をテーマに地域のことを取材しました。知っているようで知らない天売島の魅力を発見してください。

2018年度

天売島の海鳥たち!!

2018年11月13日に、

天売島で見られるウトウやウミガラス、

赤岩のことを調べるために、

天売島の鳥に詳しい寺沢孝毅さんに

取材をしました。



ウツウ

ウトウという鳥は2月中じゅんから3月に天売島にやって来ます。ふだん食べているのは小魚や、動物プランクトン(なんと5ミリメートル)で、ヒナには大きい魚をあげています。

ウトウの目の上には毛があるので、何の役に立っているのか聞くと、周りから目立つためだそうです。春に生えてきて、冬は毛が無かったりするそうです。ウトウの巣の多くは、赤岩周辺にあるのですが、観音岬という赤岩からはなれた場所にも巣があるそうです。

次に、「オロロン鳥」と呼ばれているウミガラスについて紹介します。ウミガラスが「オロロン鳥」と言われている理由は、鳴き声が「オロロロン」と聞こえるからだそうです。ウミガラスの巣は赤岩の近くのガケのくぼ

みにしかないそうです。次にウミガラスの魚のとりに方々を聞くと、なんと海にもぐって魚より早いスピードで追いかけてつかまえるというものでした。

ウミガラスのヒナは7月に巣立ちました後、お父さん鳥に付きそつてもらい、秋から冬にかけて、魚のとりに方を学んで独立します。だから、秋から冬の間は飛べるようになっています。

いかに言っています。最後は、天売島の西にある赤岩について

いかに言っています。最後は、天売島の西にある赤岩について



ウミガラス (写真: 羽幌町観光協会)



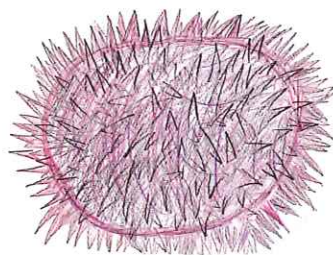
赤岩

て紹介します。なぜ赤岩という名前なのかというと、岩の根元が赤いからです。

赤岩展望台はなぜ作られたのかというと、海を見わたせる景色がきれいで、昔はオロロン鳥がたくさんいて、赤岩の周りを飛んでいた光景を見せたかったから作ったそうです。赤岩展望台からは、ウトウの帰巣などを見ることが出来ます。

このような美しい自然が天売島にはたくさんあります。みなさんも天売島に来る際には赤岩展望台に行つて、ウトウとウミガラスを見て天売の大自然を感じてみてください。天売島に来たら「ここに来て本当に良かったなあ。また来ようかな。」と、何回でも行きたいと思える、思い出の場所になると思います。

みんなが楽しめる ウニ祭り



毎年7月の終わりに開催されるウニ祭りについて紹介します。

2018年9月12日、ウニ祭りが始まったきっかけやお祭りの内容を聞くために、羽幌町観光協会天売支部の佐賀大一人さんに取材しました。

ウニ祭りは、今から40年ぐらい前に始まりました。天売島では、色々な魚や貝がとれますが、中でもウニが一番高級でインパクトがあること、また、島の人にとってはあまりめずらしくないですが、都会の人はウニがあまり食



写真: 羽幌町観光協会

神社のお祭り、 郷土の祭典

2018年9月12日、
天売島にある巖島神社へ行き、
お祭りにくわしい竹内英則さんに
取材をしました。
天売島で行われる夏祭り
「郷土の祭典」について紹介します。

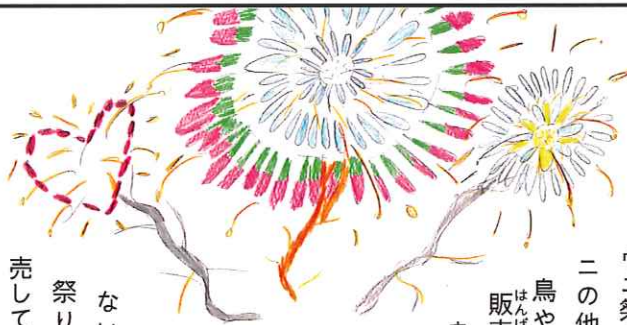


巖島神社は1804年(文化元年)に、市杵島姫命を祭神とし、にしん漁の安全を願って、弁天岬にある山田民宿の近くに建てられました。
1903年(明治36年)に現在の位置に移転した頃から神社でお祭りが始まったと伝えられています。昔は神社本庁から通達が来て、春、夏(例大祭)、秋の年に3回お祭りをやってきたそうです。しかし、漁師が忙しかったため、春と秋の祭りへの参加を自由になると、次第に行われなくなり、今では元日祭と郷土の祭典と

して行っている夏祭り(例大祭)のみになりました。郷土の祭典では島民の暮らしの豊かさや海の安全、大漁祈願、毎日健康であることなどを願います。
郷土の祭典で担ぐみこしは、京都にあるみこし専門の業者に作ってもらったそうです。みこしを担ぐ時のかけ声は、「ホーラヨイヤッサ」「ホラヤッサエンヤ」と言います。なぜこのようなかけ声になったのか、理由は定かではないようですが、にしん漁のかけ声である沖揚げ音頭を使っ

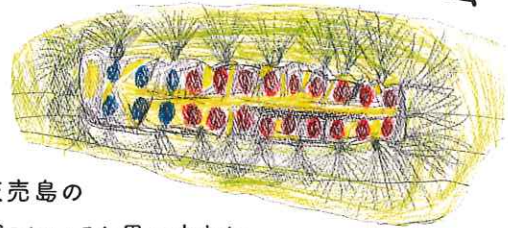
たそうです。「ホーラ」で準備、「ヨイヤッサ」で力を入れて、綱を引き揚げます。「ホラヤッサエンヤ」も同じで、「ホラヤッサ」で準備して、「エンヤ」で力をいれます。こうすることで、みんなで息を合わせて漁業をすることができました。祭りでは、「ホーラヨイヤッサ」は先導役の人が言っていて、「ホラヤッサエンヤ」を全員で言います。
郷土の祭典は毎年6月18日に行っていますので、ぜひ見に来て、みこしを担いでみませんか？

べられないだろうということから始まりました。ウニ祭りは、天売でとれた新鮮なウニを、来た人にできるだけ安く食べてもらいたいという気持ちで行っていて、天売小中学校や天売高校の先生方、漁協の方など地域のみなさんが協力して開催しています。



ウニ祭りでは、ウニの他にも焼き鳥やケーキも販売されています。天売島にはお店が少なく、ふだん焼き鳥やケーキがあまり食べられないので、お祭りの時に販売しています。
また、ウニ祭りの夜には花火大会もあります。40年前は、あまり花火を見る機会がなかったのですが、みんなから寄付をつのって花火大会を始めました。今では毎年、観光客や島の人によるこばれているので、花火大会も続けられています。

毛虫



天売島の

毛虫はどこにいますか。

正解は山や草むらです。毛虫は、春と夏に草むらから出てきます。自分から毛虫をさわったら皮ふがかぶれてぶつぶつができた、かゆくなってしまうので、見つけても絶対にさわらないようにしましょう。もし毛虫にさわってしまったら、診療所に行き、処置をしてもらいましょう。島内で毛虫に注意

しなければいけない場所は、フットパス(遊歩道)や

赤岩展望台、観音岬展望台、千鳥ヶ浦など、

草むらが多く歩いて通る場所です。

5月から8月にかけて、スズ

メバチが巣作りを始めます。もし巣を見つけたら、

音を立てずに逃げてください。ミツバチはいたずらを

しなければさしてきませんが、

スズメバチは何もしなくても

さしてきます。スズメバチは

山道などにいます。山の

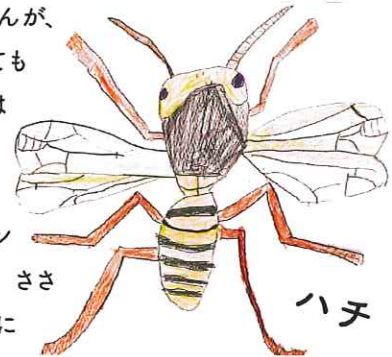
中を歩くときは、肌が出

ないよう、長袖と長ズボン

がおすすです。もし、ささ

れた場合は診療所に

連絡をしてください。



ハチ

天売島にいる危険な生き物

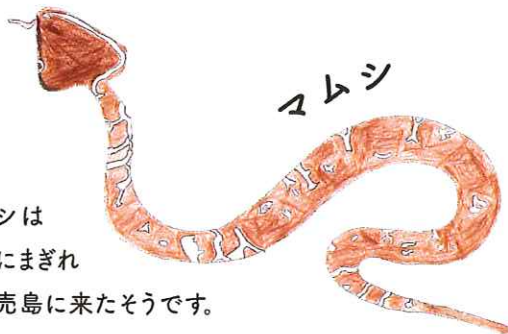
2018年9月12日、天売診療所へ取材に行きました。

天売島にはたくさんの観光スポットがありますが、

そこには危険な生き物もいます。

ハチやマムシ、毛虫の生息場所や

さされたりかまれたりした時の対応を紹介します。



ムムシ

マムシは
荷物にまぎれ

て天売島に来たそうです。

マムシの天敵はワシなのですが、ワシの

数が少なくなる事で、マムシは増えています。

マムシは出血する毒や筋肉がまひする毒、血圧

が下がる毒などをもっています。もしかまれてしまっ

たら、ハンカチやタオルなどで、かまれた所の少し

上をしばりましょう。そして、すぐ診療所へ行きま

しょう。マムシは、4月末ごろから少しずつ出てき

ます。黒崎海岸や赤岩展望台、三吉神社周辺

の道などに生息しています。また、草むらに

ひそんでいることがありますので、

入るときは気をつけましょう。

私たちがつくりました！

羽幌町立天売小中学校

吉川直文(よしかわ・なおふみ)

【先生】

三浦大我(みうら・たいが)

渡邊拓実(わたなべ・たくみ)

三浦悠都(みうら・ゆうと)

須河浩美(すがわ・ひろみ)

吉川大知(よしかわ・だいち)

【サポート】

三浦鳳我(みうら・こうが)

宇佐美彰規(うさみ・あきのり)

三浦遥斗(みうら・はると)

北海道利尻島の児童と交流

2018年8月7日から9日の3日間、天売小学校の児童3名が天売島と同じく地域メディア作りに取り組む利尻島を訪問し、利尻町児童との交流や島内見学をしました。3日間の交流を通して、様々な経験や学びを得ることができました。



<子どもたちの感想>

・初めは緊張したけど、お昼ご飯を一緒に食べて体育館で利尻のみんなと遊ぶうちに、自分から話しかけられるようになりました。いろいろなレクをするうちにどんどん仲良くなれました。また利尻に行きたいです。

・利尻の小学校のみんなと大人気でパーベキューしたことや車で利尻島を一周したことが思い出です。利尻山のふもとやお土産やさんなど、色々な観光スポットに行けて楽しかったです。

<取材協力>

自然写真家 寺沢孝毅(てらさわ・たかき)さん

天売厳島神社 榎宜 竹内英則(たけうち・ひでのり)さん

発行:羽幌町

羽幌町観光協会天売支部 支部長 佐賀大(さが・ひろかず)さん

北海道立天売診療所 所長 田中耕治(たなか・こうじ)さん

発行日:2019年2月25日